

## 第2章 安城市がめざす生涯学習

### 1 安城市の生涯学習の基本理念と推進テーマ

#### (1) 基本理念

本計画策定の時代的な背景やこれまでの本市における生涯学習推進の状況及び本市の生涯学習の抱える主要課題などを踏まえ、これからの時代における生涯学習のあり方を展望し、本市の生涯学習推進にあたっての基本理念を次のとおり設定します。

この基本理念は、本市に超高齢社会が到来し、本市が人口減少時代を迎える14年先の将来を展望して設定するものであり、生涯学習により「学びの健康」「知の健康」を保つことができるという側面から「幸せつながる健幸都市 安城」を実現するための理念として位置づけるものです。

#### 基本理念

あした

**だれもが楽しく、つながり、人とまちの明日を創る 学びあい**

#### ■だれもが楽しく

教育基本法では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現」を生涯学習の理念として位置づけています。この理念を踏まえ、市民のだれもが、いつでも、どこでも、生涯を通じて、自分らしく主体的に学習に関わることができ、しかも、自身の楽しみや生きがいの発見、自己の可能性の発見、知識や技術の習得とその成果を活かした社会貢献活動などにつながっていく「生涯学習」のあり方を表しています。

#### ■つながり

都市化等に伴う生活様式の変化や意識の変化などによって、人と人のつながりが希薄化している一方で、大災害発生が懸念される中、高齢化に伴う地域住民同士の助け合いの必要性が高まるなど、人と人の絆、地域とのつながりがますます重要になってきています。生涯学習を通じて、地域の暮らしの安全・安心に結びついていく確かな絆やつながりを築いていくことの大切さを表しています。

#### ■人とまちの明日を創る

学校教育の範囲にとどまらない多様な学びを通して、地域の宝である子どもたちが、心豊かにたくましく、将来世代を担う「人財」として育っていく願いを込めています。また、生涯学習を通じて、今日的な地域課題や懸念される将来課題に取り組むことによって、新たな価値観や市民等が主体となった新たな行動を生み出し、持続

的に発展していくまちを目指して、かつて、先人たちが「日本デンマーク」を培ってきたような将来を切り拓いていくことの大切さとその思いを表しています。

## ■学びあい

「学びあい」の「あい」の言葉には、一人で取組む学びに完結することなく、学びをとおして人や地域とふれあうことの大切さを表しています。

## (2) 推進テーマ

第1章の3で整理した本市の生涯学習の主要課題の解決、ひいては、基本理念「だれもが楽しく、つながり、人とまちの明日を創る <sup>あした</sup> 学びあい」の具現化に向け、以下に示すように4つの推進テーマを掲げ、これらを重視しながら本計画の計画期間である向こう5年間において生涯学習施策・事業を推進します。

### ① 市民活動・地域活動の担い手育成につながる生涯学習

高齢者などによる地域の見守り活動や防災活動など、今日的な地域課題等の解決を目指した多様な市民活動や地域活動の担い手の育成につながるような生涯学習を推進します。

➡ 「主要課題1：人と人の絆づくりや地域課題の解決につながる生涯学習の展開」の対応として

### ② 市民自ら企画・運営し、市民同士で、楽しみながら、学び、教える生涯学習

多様化する学習ニーズや社会的ニーズに柔軟に対応するため、「市民企画講座（協働講座）」や「自主グループ主催講座」を充実するなど、市民が学びたいことや取り組んでみたいことを自ら考え、企画・運営していく生涯学習をより一層発展させていきます。

➡ 「主要課題1：人と人の絆づくりや地域課題の解決につながる生涯学習の展開」の対応として

➡ 「主要課題3：若者・現役世代にとって魅力的で参加しやすい講座等の充実（特に、若者世代の生涯学習の推進、仕事や子育てで忙しい現役世代のための生涯学習の充実）」の対応として

## ③

**長寿社会を地域で豊かに生きるための大人の生涯学習**

長きにわたって「シルバーカレッジ」を開催している実績を活かしつつ、もう少し若いシニア世代にも焦点をあてた生きがい探し講座といった長寿社会を地域で豊かに生きるための生涯学習、充実したセカンドライフを過ごすきっかけとなる生涯学習を推進します。



**「主要課題2：定年退職期の市民に向けた、地域社会へのソフトランディングを意識した生涯学習の充実」の対応として**



**「主要課題3：若者・現役世代にとって魅力的で参加しやすい講座等の充実（現役世代のうち、セカンドライフ予備軍の50歳代の講座の充実）」の対応として**

## ④

**ものづくり文化の創造と次世代育成につながる生涯学習**

安城ならではのものづくり資源・要素を最大限に活かし、次代を担う子どもたちがものづくりに身近に触れる機会を増やしていく生涯学習を推進します。また、希薄化しつつあるといわれている子どもたちの仕事観・職業観を培っていくために、地元企業や学校と連携したキャリア教育<sup>※7</sup>を意識した生涯学習を推進します。



**「主要課題4：本市の特徴である「ものづくり」をテーマとした生涯学習の充実」の対応として**



安城市少年少女発明クラブ

※7 キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育のこと。意志決定能力、人間形成能力、将来設計能力、情報活用能力などの能力等を育てることをいう。

安城市の生涯学習の現状を踏まえつつ、第1章の3で整理した本市の主要課題の解決と、基本理念「だれもが楽しく、つながり、人とまちの明日を創る 学びあい」及び4つの推進テーマを具現化するために、次の3つの基本目標を設定し、これに基づき、施策・事業を推進します。

**(1) 多様なニーズに応じた学びの機会の提供**      **～学習機会の充実～**

- 「趣味・教養・健康づくり」など、一人ひとりの「生きがい」や「充実した個人生活」の実現につながる学びの機会を提供します。
- そのため、ライフステージ、学びのレベルに応じた学習機会の提供を進めるなど、多様な市民ニーズに対応した学習プログラムの提供をめざします。

**(2) 学びの成果を地域に活かすつながりづくり**      **～学習成果の活用～**

- 一人ひとりの学びの成果を「人との絆づくり」や「豊かな地域社会の形成」に活かして、よりよい地域づくりに貢献する生涯学習をめざします。
- そのため、学んだ人のグループ化を促しつつ、地域、団体、企業など様々な活動主体との交流の機会を提供し、様々な活動とのつながりづくりを進めます。

**(3) 市民の主体的な学びを支える環境づくり**      **～学習環境の整備～**

- 市民が生涯を通じて主体的に学びを重ねることができ、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いくつになっても学ぶことのできる環境をめざします。
- そのため、生涯学習に関する様々な「情報」の提供、学習活動に対するサポート体制、学習活動の場の整備など、市民の主体的な学びを支える環境整備を進めます。
- 図書館情報館に整備するICTを活用した生涯学習メニューの開発を進めるなど、図書と情報を活用した学びの場を整備します。

# 第3次安城市生涯学習推進計画 施策の体系

## 基本理念

## 向こう5年間の推進テーマ

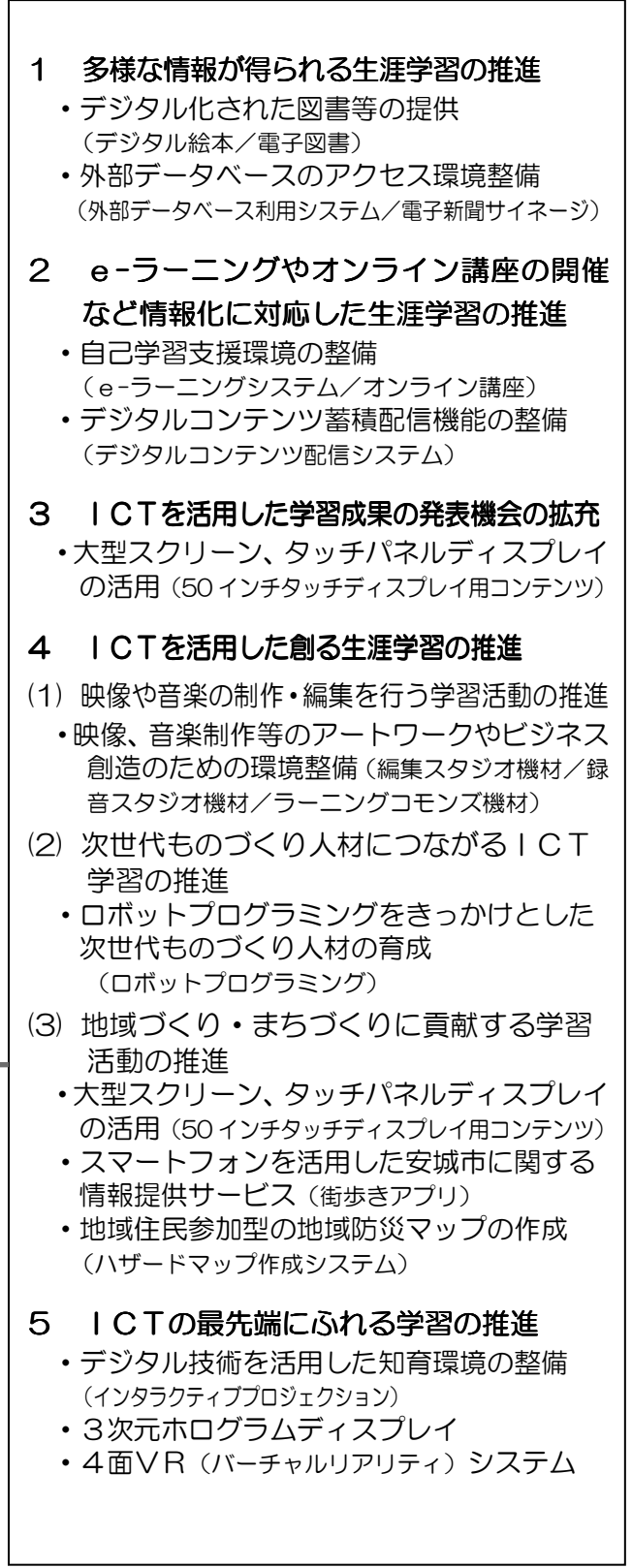
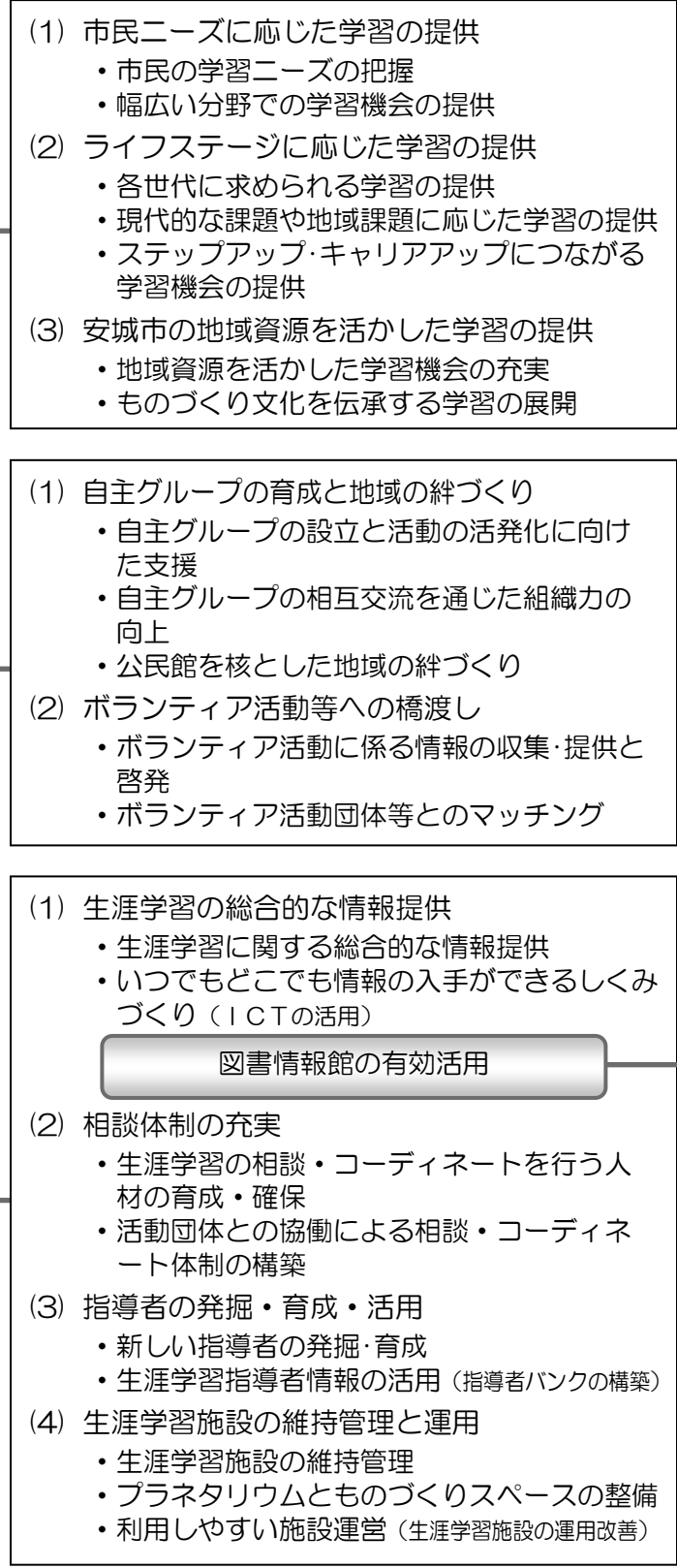
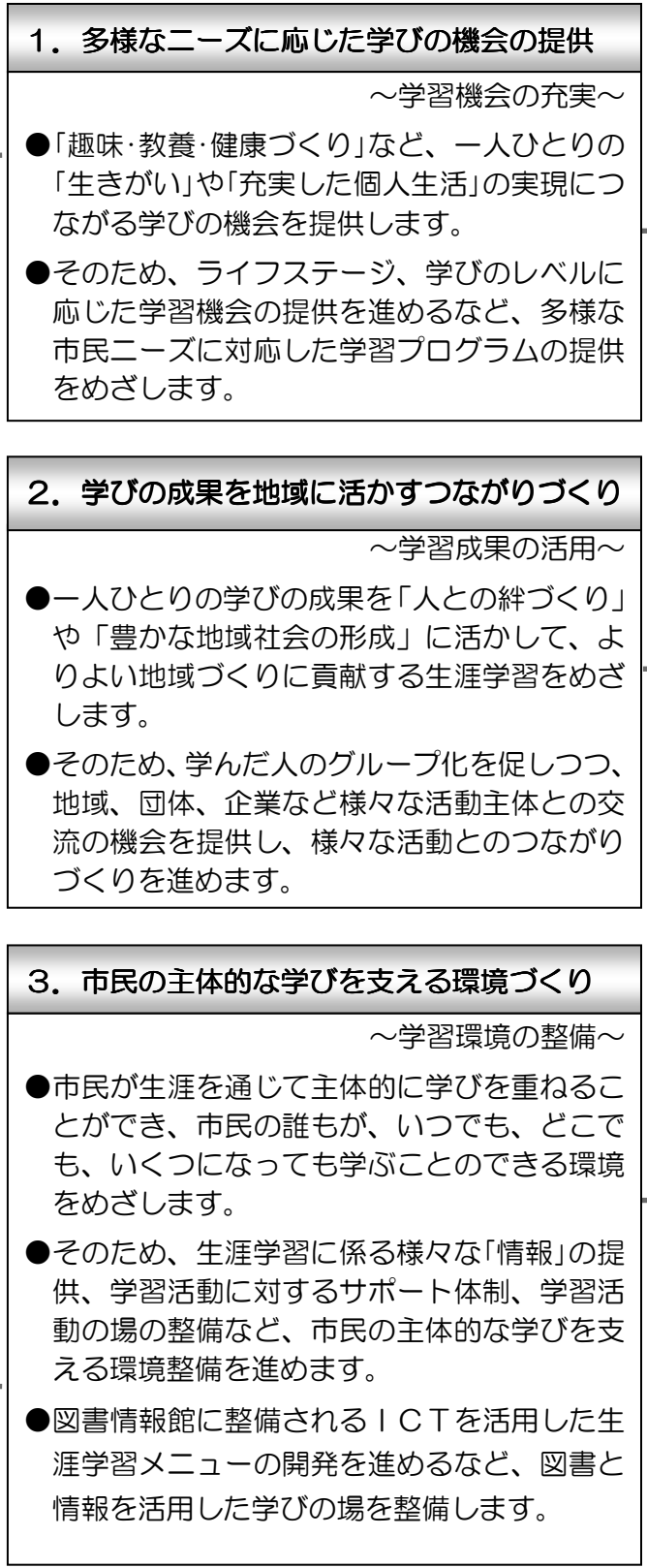
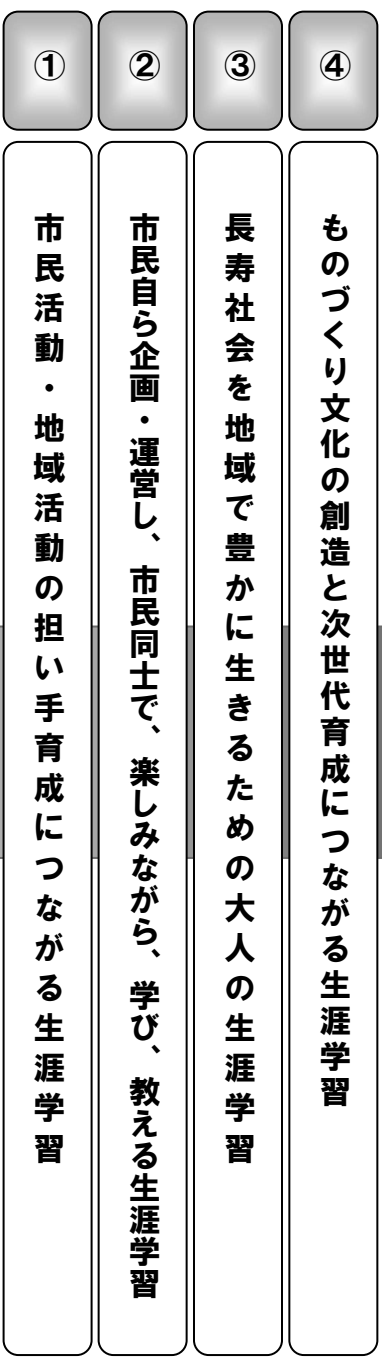
## 基本目標

## 施策の方針

## 図書館の活用（事業の方針とメニュー）

だれもが楽しく、つながり、人とまちの明日を創る学びあい

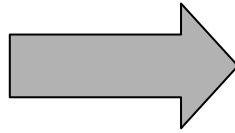
あした



本計画では、次の数値目標を設定します。

### （１）生涯学習に対する満足度

現状値 （平成24年度）
56.3%

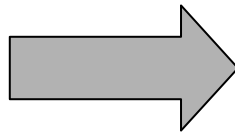


目標値 （平成32年度）
61%

出典：市民アンケート調査（企画政策課）

### （２）市が実施している講座や教室を受講したことがある市民の割合

現状値 （平成25年度）
24.9%

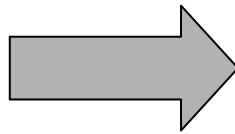


目標値 （平成32年度）
30%

出典：生涯学習に関するアンケート調査（生涯学習課）

### （３）生涯学習講座・教室の受講者数

現状値 （平成25年度）
12,224人

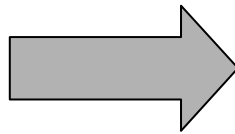


目標値 （平成32年度）
14,500人

出典：統計値（生涯学習課）

### （４）1年間に新たに活動を始めた自主グループ数

現状値 （平成26年度）
18グループ

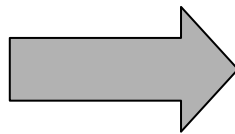


目標値 （平成32年度）
20グループ

出典：統計値（生涯学習課）

### （５）地域行事・まちづくり活動へ参加した市民の割合

現状値 （平成25年度）
10.3%



目標値 （平成32年度）
15%

出典：生涯学習に関するアンケート調査（生涯学習課）